

令和4年度事業報告

1. 令和5年度生募集及び入学状況

令和5年度生の募集については、3校全学科の定員確保を目指して学園本部と各学校の連携により実施した結果、下記のとおり3校（日本語学科、通信課程美容科を除く）の合計出願数は480名（前年度比101.9%）で前年度（471名）より9名増加、入学生数は477名（前年度比99.1%）で前年度（481名）より4名減少した。

在校生総数は、1,016名（前年度比103.2%）で前年度（984名）より32名増、引き続き学生募集の強化と退学防止に注力していく。

令和5年度生の学校別出願数及び入学者数（在校生総数は休学者を除く）

・学校別出願数（日本語学科、通信課程美容科を除く）

	定員	出願数	達成率(%)	前年対比
龍馬情報ビジネス&フード専門学校	280	210	75.0%	105.5%
龍馬デザイン・ビューティ専門学校	230	136	59.1%	91.3%
龍馬看護ふくし専門学校	220	134	60.9%	108.9%
合計	730	480	65.7%	101.9%

・学校別入学者数

校名	学科名	定員	R3年度	R4年度	R5年度	差異	前年対比
龍馬情報ビジネス&フード専門学校	システム工学科	20	17	10	11	1	108.1%
	情報システム学科	40	47	34	39	5	
	ゲームクリエイター学科	20	24	24	24	0	
	会計ビジネス学科	30	23	30	22	-8	
	公務員学科	30	47	34	39	5	
	セールスマジック学科	30	20	19	21	2	
	製菓製パン学科	40	14	20	24	4	
	調理経営学科	40	15	11	8	-3	
	調理師学科	30	7	3	12	9	
合計	280	214	185	200	15		
龍馬デザイン・ビューティ専門学校	マンガ学科	30	10	12	11	-1	84.6%
	グラフィックデザイン学科	40	45	40	36	-4	
	建築インテリア学科	40	29	34	29	-5	
	自動車整備工学科	40	14	22	17	-5	
	美容総合学科	40	33	23	19	-4	
	総合研究科	20	4	0	4	4	
	二級建築士専攻科	20	16	11	15	4	
	通信課程美容科	40	4	4	3	-1	
	日本語学科	20	27	43	26	-17	
合計	290	182	189	160	-29		
龍馬看護ふくし専門学校	医療事務・医療秘書学科	40	9	14	13	-1	109.3%
	福祉保育学科	40	10	13	9	-4	
	子ども未来学科	40	38	31	20	-11	
	看護学科	60	63	49	58	9	
	スポーツ健康学科	40	-	-	17	17	
	合計	220	120	107	117	10	
3校入学生総数		790	516	481	477	-4	99.1%
3校在校生総数			1,003	984	1,016	32	103.2%

2. 就職実績

3校の就職率は97.5%でほぼ例年並みの実績となった。コロナ禍3年目とは言え、求人数、企業の採用意欲等に関しては以前と変わらない水準にもどっており問題視することはなくなってきている。これに伴い県内就職率も昨年、一昨年と比べて徐々に下がる傾向にある。

学校別に見ると龍馬情報ビジネス&フード専門学校の内定率が少し落ちているが、理由は就職指導において扱いの難しい学生が年々増えていることが原因である。他の2校についても同様なことは指摘されているが、さいわい数値面での大きな変化は見られなかった。

令和5年3月卒業生就職状況

・学校別就職状況

	卒業生数	就職希望者数	就職者数	就職率 (%)	専門就職率 (%)
龍馬情報ビジネス&フード専門学校	191	174	166	95.4	84.3
龍馬デザイン・ビューティ専門学校	125	87	86	98.9	80.2
龍馬看護ふくし専門学校	97	95	95	100.0	99.0
合 計	413	356	347	97.5	87.3

・県内・外就職状況

	県内・外	求人企業数	就職者数	県内・外就職割合
龍馬情報ビジネス&フード専門学校	県内	157	102	61.5%
	県外	333	64	38.5%
龍馬デザイン・ビューティ専門学校	県内	79	59	68.6%
	県外	175	27	31.4%
龍馬看護ふくし専門学校	県内	137	85	89.5%
	県外	107	10	10.5%
合 計	県内	373	246	70.9%
	県外	615	101	29.1%

3. 高資格検定取得及び各種展覧会等入賞・入選状況

(1) 龍馬情報ビジネス&フード専門学校

(高資格検定取得者)

- データベーススペシャリスト試験 1名
- ネットワークスペシャリスト試験 1名
- 情報処理安全確保支援士試験 1名
- 応用情報技術者試験 9名
- 基本情報技術者試験 34名
- 全経簿記検定上級 1名
- 製菓衛生師試験 12名 合格率100%
- 第38回調理技術コンクール西洋料理部門全国大会出場 1名
- 公務員最終合格者 28名 (公務員学科)

(2) 龍馬デザイン・ビューティ専門学校

(コンペ・検定受賞状況)

- 美容師国家試験 29名 通信生2年連続100%合格
- 二級建築士国家試験 4名
- 2級自動車整備士試験 13名 (留学生3名) 100%合格
- 日本漫画能力検定協会主催漫画家アシスタント検定3級 5名/2級 1名
- 日本語能力認定試験2級 2名/3級6名
- 高知県展 (グラフィック部門) 山六郎賞・県美術振興会奨励賞1名 新人賞1名 入選23名

- ヤマキン、オーテピア共催「デジタルデザインコンテスト」
【デジタルアート部門】 YAMAKIN 賞 【CGアニメーション部門】 グランプリ受賞
 - 高知県主催「若者の消費者被害未然防止啓発動画コンテスト」
【15秒の部】最優秀賞 受賞／【30秒の部】最優秀賞 受賞
 - 建築デザインコンペ 【団体の部】高知県知事賞（第1位）受賞／入賞10組23名
 - スタイリングコレクション2022全国大会
【学生部門】小紋トレンドアレンジの部 ゴールド(1位)／シルバー(2位) 受賞
- 美容総合学科のヘア&メイクアップショーはラ・ヴィータにて有観客&オンライン配信で開催。グラフィックデザイン学科／マンガ学科／建築インテリア学科／二級建築士専攻科合同で卒業制作展を県立美術館で開催し好評を博した。
- また、同校は30周年を迎え、お仕事フェスなどの記念イベント開催、記念グッズの作成を行い、好評を博した。

(3) 龍馬看護ふくし専門学校

- 看護師国家試験 45名 合格率95.7%
 - 保育士資格・幼稚園教諭2種免許 43名 全員取得
 - 医科医療事務管理士検定 13名 合格率100%
 - 歯科医療事務管理士検定 4名 合格率100%
 - 調剤事務管理士検定 13名 合格率100%
 - 介護事務管理士検定 6名 合格率100%
 - 医師事務作業補助者検定 6名 合格率100%
 - 診療報酬請求事務能力認定試験 4名 合格率66.7%
- 福祉保育学科、子ども未来学科共に県立美術館ホールにて卒業発表（ミュージカル・演劇）を行い、好評を博した。

4. 生涯学習健康センター「キラヴィ」(オープンカレッジ)

(1) キラヴィ

令和4年度(2022年度)は受講生目標を3,200人としてスタートした。前期は1,518人、後期は1,483人で合計3,001人であり目標には達せなかった。新型コロナの流行の影響を受けた数字であった。全講座が休講することはなくコロナ対策を取りつつ運営した。トレーニングルーム一般開放も通常どおり運営した。受講生等はウイズコロナの時期の運営や対策に理解をいただき協力的であった。

(2) 龍馬学園キッズアカデミー

令和4年度生(2022年度)は新入生10名が入会した。在校生16名を含め26名でスタートした。令和5年度(2023年度)は新入生15名在校生18名(2年生9名、3年生8名、4年生1名)33名でスタートし開設以来最大数の利用者となっている。

5. 高知まんがBASE

令和2年3月より県から業務を受託している「高知まんがBASE」の管理運営も3年目を終えた。運営は順調で、新型コロナウイルスの影響を受けながらも利用者は年々増え、令和4年度の総来館者数は25,393名で、令和3年度より6,183名(約22%)増加した。また、設置目的の一つ「人材育成」を達成するための根幹事業である「作画体験教室」の参加者も1,830名と令和3年度より330名(22%)増加した。これは、イベントや口コミなどで施設の認知度が上がってきたことが大きな要因だと思われるが、リピート率の高さも利用者の増加に繋がっている。

6. グローバルプロジェクト推進室

(1) 日本語学科 留学生募集

令和4年度の事業計画では「新規国の開拓」を掲げ、セールス訪問国はインドネシア、インド、南米(ブラジル、パラグアイ、アルゼンチン)、韓国へ訪問。それぞれの国で募集につながる開拓ができた。インドネシアからは早速留学生が入学、南米では本科や日本語学科への問い合わせも5件ほど届いている。

在籍管理優良校として認定され、結果として過去最高のCOE通過率を達成した。特に今まで低かったネパールに関しては100%。また、新規国としてバングラデシュや台湾からの留学生も入学。要因としては、まずは在籍管理優良校として認定されたこと、申請書類に対

する電話調査をしっかりと行い、入管協会の事前チェック、オンライン面談記録なども残したことが入管にも認められたと考える。

また、留学生からの紹介や卒業生からの紹介による入学者も増えた。さまざまなイベント参加やメディア報道により県内在住外国人の方の入学もあり、現在13カ国83名となった。

日本語学科入学者出身国別内訳表

区分	入学者数															
	留学	留学以外	合計	国別内訳												
				インドネシア	中国	ネパール	ベトナム	フィリピン	インド	チュニジア	ミャンマー	バングラデシュ	アメリカ	ロシア	台湾	ウクライナ
2022年4月生	39	1	40	0	3	30	4	1	1	1	0	0	0	0	0	0
2022年10月生	17	2	19	1	5	7	1	0	1	0	1	3	0	0	0	0
2023年4月生	24	2	26	2	0	14	0	1	1	0	0	4	1	1	1	1
在学中	77	5	85	3	8	51	5	2	3	1	1	7	1	1	1	1

(2) 高知県内 国際理解教育・イベント参加活動

多くの活動の結果、マスコミの注目度も高い。これは県内在住外国人や一般県民へ、日本語学科の存在アピールにつながっている。

(3) マンガ学科 インドネシア・龍馬マンガ検定実施、オンライン交流そして海外研修へ

- ・2022年からオンラインマンガ教室などをインドネシア向けに実施。
- ・現地法人 OHAYO DRAWING SCHOOL と連携し、「龍馬マンガ検定」も実現。

2023年にはマンガ学科のインドネシア研修にもつながってきている。

7. 令和4年度決算概況

令和4年度は、主業である専門学校3校の入学者数は481名（前年度491名）と前年度より10名減少した。日本語学科については、令和2・3年度に入国出来ず待機していた留学生中心に新生43名を迎えた。在校生数は、984名（前年度比103.1%）で前年度（954名）より30名増加した。これらによって学生生徒等納付金は10億5,782万円と前年度比6.3%増となった。教育活動収入計は、いわゆる高等教育無償化による補助金、高知県からの「高知まんがBASE」の受託収入を含めて13億3,388万円と前年度比5.1%増を計上した。

損益面については、引き続き経費削減に努めた。しかしながら、人件費が6億5,528万円と前年度比4,062万円増加したほか値上げによる光熱水費の増加、海外渡航や国内出張の回復による旅費交通費の増加、また学生数増加によって高等教育無償化による奨学金が増大した。これらの理由により教育活動支出は前年度比1億1,677万円増加した。経常収支差額は4,588万円と前年度比52.0%減となった。特別収支差控除後の当年度収支差額は、5,753万円（前年度比41.3%減）となった。

8. その他

教職員の動向	R4. 4. 1	R5. 4. 1	増減
教員	79	78	-1
職員	33	34	1
出向者	1	1	0
受入出向者	1	2	1
まんがBASE	4	4	0
合計	118	119	1

●退職者等：11名 ●新規採用：11名 ●出向受入：1名

以上